

# きんもくせい

病院だより

vol.97

令和3年  
6月号

## この地域の医療を守る、未来の力を育てています



▲ 4月から当院で医師としてのスタートを切った研修医

当院は臨床研修病院として、研修医の受け入れを行っています。今年度も新たに14名の研修医を採用しました。

当院では、「日本トップクラスの臨床研修病院を目指す」をスローガンに、研修医の確保と研修医教育の充実に向けて病院全体で取り組んでいます。静岡県は人口10万人当たりの医師数が全国ランキング40位という医師が少ない県です。さらにその静岡県の中でも、中東遠地域は医師数が少ない医療圏です。医師の少ない病院が成長するためには教育が不可欠です。

昨年度末には、静岡県内で8番目、中東遠地域では初めての臨床研修評価機構（第三者機関による臨床研修病院としての実態調査）の認定を受けました。これまでの取り組みが評価され、客観的にも研修医教育に積極的に取り組んでいる病院として認定されました。



# 全国の医学生にとっての人気病院に成長

大学医学部の課程を修了した医学生は、医師国家試験に合格した後、臨床研修病院で2年間の研修を行います。これがいわゆる「研修医」と呼ばれる期間です。医学生がどこの病院で研修を行うかは、医学生自身が全国の病院の中から自由に選択することができます。つまり、医学生にとっての病院の魅力が高まれば、自然とその病院に研修医が集まるのです。

病院ごとの研修医の募集定員（当院は14名）は、病院の規模や指導体制、採用実績等をもとに国で決められています。研修医の確保は、ここ数年、特に地方の病院にとって大きな課題となっています。当院が開院する前の掛川市立総合病院と袋井市立袋井市民病院でも研修医を受け入れていましたが、研修医の数は毎年数名程度で、年によっては研修医を1人も採用できない時期もありました。病院としては、いかに与えられた募集定員の研修医を確保できるかが、重要な使命となっているのです。

下図①は当院に興味をもって病院見学に来た医学生の数、下図②は当院を受験した医学生の数と採用した研修医の数の推移を表しています。いずれも開院以降、右肩上がりが増加しているのがわかります。これは、静岡県内のみならず東海地方の病院の中でも上位の数であり、開院から8年が経ち、当院は医学生にとっての人気病院に成長したといえます。

研修医をはじめとする若い人材が集まることは、病院全体に活

気をもたらします。研修医は、魅力ある当院で働くことに誇りを持って、日々研修に励みます。上級医も志の高い研修医に適切な指導をするために、日々研鑽に励みます。救急医療の現場では研修医も診療の力となり、上級医をサポートしています。結果として、病院全体の医療の質向上、医療体制の確保に大きく貢献しているのです。

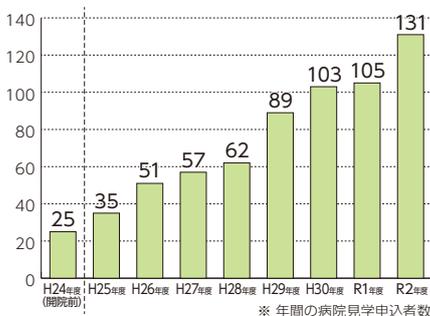
研修医の数は、医師を派遣する関連大学も注目しています。研修医の多い病院には、十分な指導体制を確保するために、より多くの医師の派遣が期待できますし、病院としても関連大学への具体的な要望が可能となります。

また、当院での研修を終えた研修医の中には、3年目以降引き続き当院で勤務する医師も多くいます。これまでに、内科や外科、整形外科、救急科など多くの診療科で採用に至っており、大学からの派遣に頼らない当院独自の採用として、病院全体の医療体制の強化につながっています。

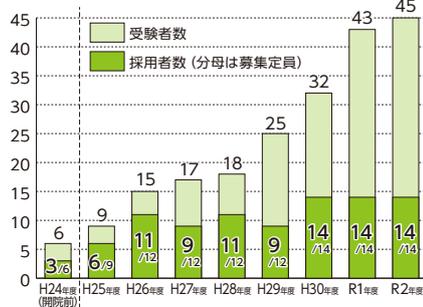
開院時、93名だった医師の数は、令和3年4月現在137名に増加しました。関連大学の支援による部分もありますが、これまでの研修医の確保に向けた取り組みも大きな要因となっていることは間違いありません。

今後も引き続き、「日本トップクラスの臨床研修病院」を目指して、さらなる医療の質向上に寄与できるよう、取り組んでまいります。

① 医学生 病院見学者数



② 研修医 受験者数・採用者数



▲救命救急センターで診察する研修医の様子

## 将来の選択肢のひとつに「医療」という道を

新型コロナウイルスが猛威を振るう中、「私たちにできることはないか」と次世代を担う若い皆さんから温かいご支援をいただいています。

大切な人の命を守るために、若い皆さんにしかできないことがひとつあります。

それは、医療の道を将来の選択肢のひとつに加えてほしいということです。

当院のリクルートサイトでは、医師・看護師をはじめ病院で働く様々な職種を紹介しています。ぜひご覧ください。



リクルートサイトはこちら



# 令和3年度 新規採用研修医

地域の皆さまのご協力により、次世代の医療を担う医師を育成しています。  
今年度、当院に入職した研修医14名をご紹介します。

前列左から



後列左から

すぎやま ゆうた  
**杉山 勇太**

沼津市出身です。大学を卒業し、地元である静岡県に戻ってきました。研修医として勉強させていただきながら、中東遠地域の皆さまのお役に立てるよう精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。

おおひなた りょう  
**大日方 遼**

人も気候も温かいこの地域で研修医として働けることを嬉しく思います。地域住民の皆さまに貢献できるよう、精一杯努力する所存です。まずは初期研修の2年間で成長したいと考えております。よろしくお願いいたします。

きさもり たろう  
**木佐森 太郎**

磐田市出身です。未熟者ではありますが、静岡県の医療に尽力したいと思います。よろしくお願いいたします。

とみた こうへい  
**富田 浩平**

静岡県に住むのは初めてですが、この地で働くことができ嬉しく思っております。中東遠地域の皆さまのお役に立てるよう、精一杯努力してまいります。よろしくお願いいたします。

すずき けいた  
**鈴木 圭太**

浜松市出身です。福井県で6年間過ごしました。静岡県の医療に貢献したいと思っています。よろしくお願いいたします。

そん じぶん  
**宋 智勲**

大阪府出身です。この地に来て、早くも地域の皆さまの優しさに触れる機会が何度かありました。2年間で多くのことを学び、地域の皆さまに貢献できるよう、精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。

さいき わたる  
**齊木 颯**

横浜出身で名古屋での大学生活を経て静岡へやってきました。この地域で新たなスタートを切れることを嬉しく思います。どうぞよろしくお願いいたします。

うさみ しゅんや  
**宇佐美 舜也**

浜松市出身です。生まれ育った静岡県で研修医として働くことができ、大変嬉しく思います。皆さまのお役に立てるよう精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

ふじた たかこ  
**藤田 貴子**

島田市出身です。大学入学時より地元の静岡で働きたいと思っており、それが叶ったことを嬉しく思っております。早く仕事を覚え、地元の皆さまのお役に立ちたいです。精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。

さかいだ かな  
**坂井田 佳奈**

中東遠地域の方々のお役に立てるよう、日々成長していきたいと思っております。2年間精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。

ますだ のぞみ  
**増田 望**

掛川市出身です。地元の医療に携わることができ、大変嬉しいです。医師として皆さまのお力になれるよう日々努力してまいります。よろしくお願いいたします。

もり まゆこ  
**森 万佑子**

名古屋出身です。大学から静岡県に来て、静岡県が好きになりました。未熟者ではありますが、精一杯頑張らせていただきます。よろしくお願いいたします。

おさかべ ゆめみ  
**刑部 夢望**

浜松市で生まれ育ち、この度初めて天竜川を超えたこの地で働かせていただくことになりました。2年間研修医として皆さまの健康に貢献できるよう、フレッシュな気持ちで頑張ります。よろしくお願いいたします。

そめの しゅうすけ  
**染野 秀介**

中東遠地域の皆さま、お初にお目にかかります。緑豊かなこの地で働くことを大変嬉しく思います。早く皆さまのお役に立てるよう日々邁進する所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

## 新人看護師として、新たな一歩

看護学校を卒業し、4月から看護師として、また、社会人1年目として新たな一歩を踏み出してから、早くも2ヶ月が経ちました。

初めて患者さまに食事を配膳したとき。初めて採血をしたとき。初めてナースコールが鳴ったとき。学生時代では経験しなかった初めてのことの連続で、緊張や不安でいっぱいになることもありますが、毎日多くのことを学びながら充実した日々を過ごしています。

私はこの1年の目標を「礼儀や責任感など社会人としての自覚を持つこと」、「体拭きや採血などの基本的な看護技術を患者さまの状態に合った方法で実践できるようにすること」としています。また、コミュニケーションは看護を行う上で、患者さまはもちろんのこと、患者さまのご家族との信頼関係を深めるために必要不可欠なことです。先輩の関わり方を間近でよく観察し、先輩のスキルを自分のものにしていきたいと考えています。



▲先輩看護師の指導を受けながら、足浴介助をする新人看護師（右）

今後、看護師として時にはくじけてしまいそうなことがあるかもしれませんが、同期看護師26名とお互い支え合い、励まし合いながら、これからの看護師生活を送りたいと思います。看護師になると決めたあの日の決意を忘れずに、患者さまのことを第一に考え、自分にできることは何なのか、と自問自答を繰り返しながら、日々、職務に励んでまいります。

5階西病棟 村松 菜那

## お知らせ - information -

### 第33回 医療市民講座のご案内

皆さまの安全を第一に考え、感染防止対策を講じたうえで細心の注意を払い開催いたします。

**日時** 令和3年7月31日（土）  
午前10時～正午（受付9時30分～）

**場所** 当院 3階 大会議室

**申込み** 6月14日（月）より申込み開始。  
ホームページ専用フォーム、または  
問い合わせ先へ電話、FAXのいずれ  
かにて。

**問い合わせ** 経営戦略室  
電話：0537-21-5555(代)  
FAX：0537-28-8971(代) [申込みはこちら](#)



**入場料無料**

**定員100名(予約制・先着順)**

**演題**

- ① 「正しく知ろう皮膚がん」  
大塚 正樹 医師（皮膚科・皮膚腫瘍科診療部長）
- ② 「脳卒中と脳神経外科」  
～脳卒中はFASTとTime is brain～  
市橋 鋭一 医師（副院長 兼 脳神経外科統括診療部長）

※申込用紙を院内専用BOXにお入れいただいても申込みできます。  
※申込用紙は院内ほか、市役所等で配布しています。  
※最新情報や申込方法など、詳しくは病院ホームページをご確認ください。

## 4月の 診療実績

1日あたりの患者数	病床利用率	74.9%	
入院	375人	平均在院日数	8.7日
外来	1,230人	手術件数	491件
紹介率	86.1%	救命救急センター受診者数	1,155人
逆紹介率	100.9%	救急搬送件数	421件

## 人間ドックの受診を!!

コロナ禍で人間ドックの受診を控えていませんか？

病気は待つてはくれません。

定期的な受診をおすすめします。



病院だより「きんもくせい」は、中東遠総合医療センター、掛川・袋井両市役所及び一部の市内公共施設にて無料で配布しております。

ホームページ <https://www.chutoen-hp.shizuoka.jp/>

過去の病院だよりをホームページでご覧いただけます。 [中東遠](#) [Q検索](#)

スマートフォン・タブレットからアクセスする際にはQRコードをご利用ください



〒436-8555  
掛川市菖蒲ヶ池1番地の1

TEL 0537-21-5555

